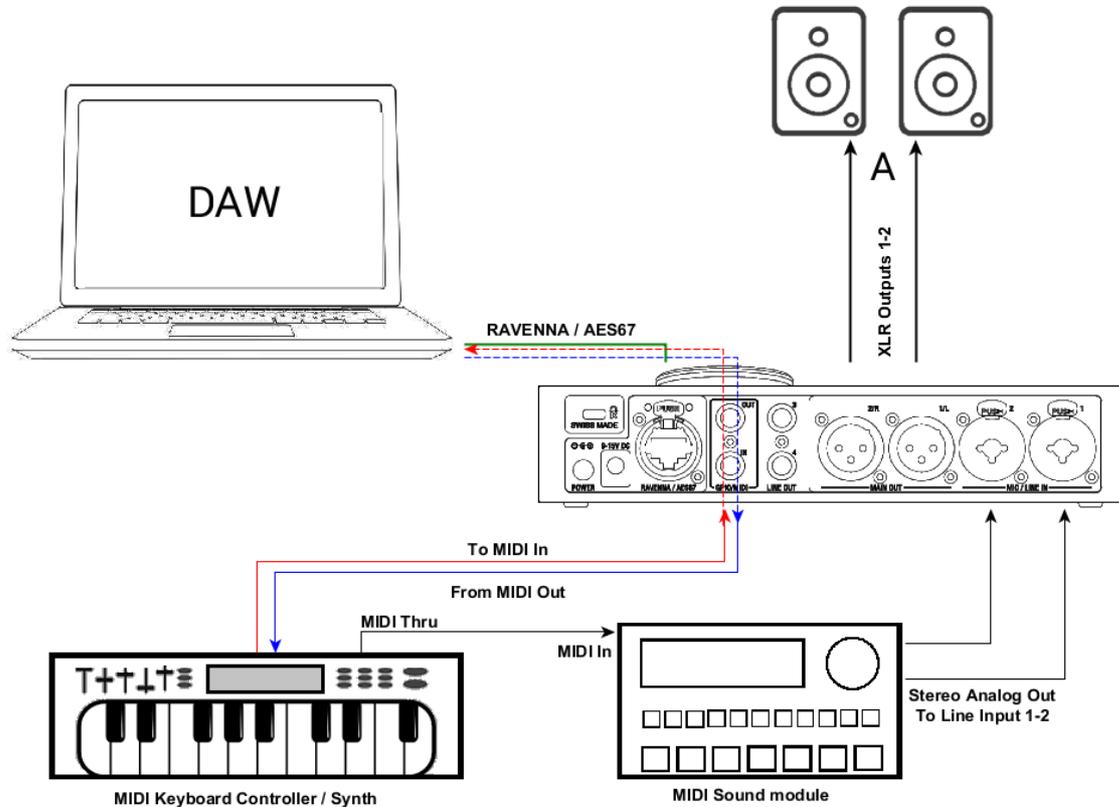




# Anubis MIDI INTERFACE SETUP



## Setup

### AnubisのMIDI I/OをDAWで使用します。

キーボードのMIDI出力をAnubisのMIDI INに接続し、RAVENNA/RTP経由で、キーボードがDAWのVSTインストゥルメントをトリガーするようにMIDIを設定します。DAWのソースストリームはAnubisでモニターします。

DAW/MIDIプログラムは、MIDIアウト信号を返すこともでき、外部シンセサイザーのMIDIインプットに接続されたMIDIアウトを介して、MIDIパーティションを演奏することができます。

### Anubis MIDI I/Oをサウンドモジュールと組み合わせてレコーディングやライブに活用する

AnubisのMIDI INにキーボードのMIDI出力を接続し、RAVENNA/RTP経由でDAWに録音するMIDIを設定します。DAWで再生されるRAVENNA/AES67のソースストリームはANUBISでモニターされます。キーボードのMIDIスルーをMIDIサウンドモジュールに、MIDIサウンドモジュールをAnubisのアナログ入力に接続して、Anubisの入力を録音するようにDAWを設定します。ライブパフォーマンスでは、DAWを使わずに、キーボードをサウンドモジュールとAnubisのライン入力1-2に接続し、Anubisの内蔵ミキサーを利用することもできます。

## 前提条件

適切なピンアウトのMIDI Jack ¼"フォーンを使用してください。

## Anubis MIDI I/Oについて

AnubisのMIDI I/Oは、キーボード、ドラムマシン、サウンドモジュール、その他のコントローラなどと同様のクラスに準拠したCore MIDIデバイス間のMIDI接続を提供します。



Anubis の背面にある MIDI IN と MIDI OUT ポートは、外部のMIDI機器を接続するための1/4インチのジャックを使用しています。

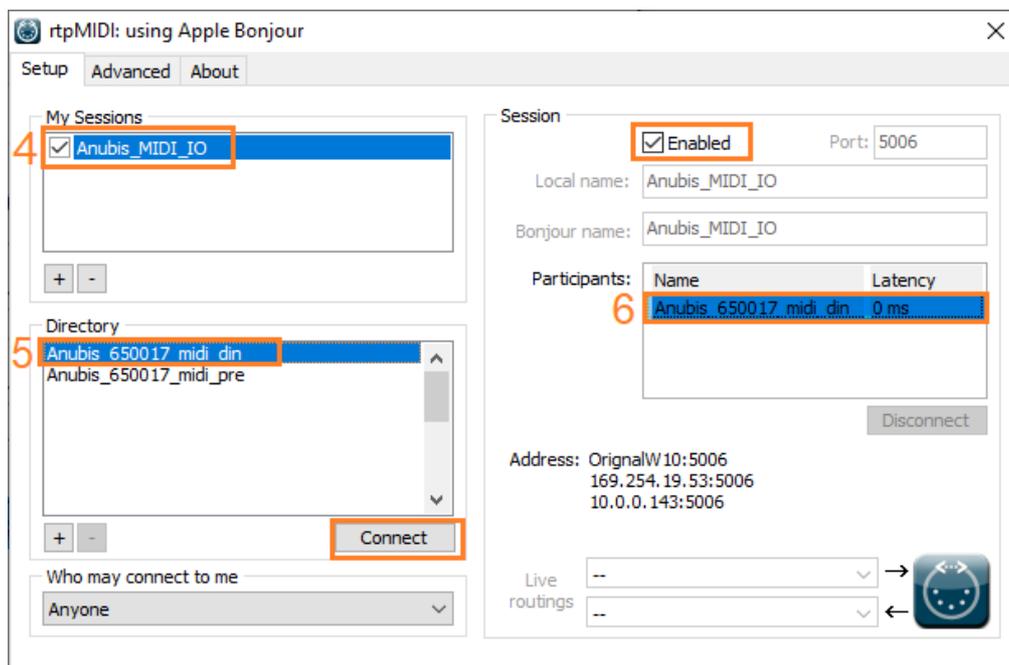
MIDIポートは、Anubisのドライバーをインストールして、以下の手順に従うと、お使いのコンピュータで使用できるようになります。

*Note* : Anubisは、MIDI I/OまたはGPIOで使用できます。MIDI I/Oはデフォルトのモードで、Anubisの >Settings>I/O>Triggersページで設定できます。

**Warning** : MIDI I/O接続を行う際は、楽器や他のデバイスへのダメージを避けるため、Anubisの電源を切って行うことをお勧めします。

### Windows ユーザーの手順

1. AnubisがMT Discoveryで検出されていることを確認してください。
2. RTPMidi (<http://www.tobias-erichsen.de/software.html>) をダウンロードしてインストールします。
3. RTP MIDIを起動します。
4. My Sessions のセクションで、+マークをクリックして新しいセッションを作成し、名前を付けます。
5. セッションが作成されたら、利用可能なストリームの中から Anubis\_<Serial>\_midi\_din を選択し、“Connect” をクリックします。
6. midi\_din のストリームが Participations セクションに渡されますので、上記でこのストリームが有効になっていることを確認してください。これで、お好みのDAW/MIDIアプリケーションで使用することができます。

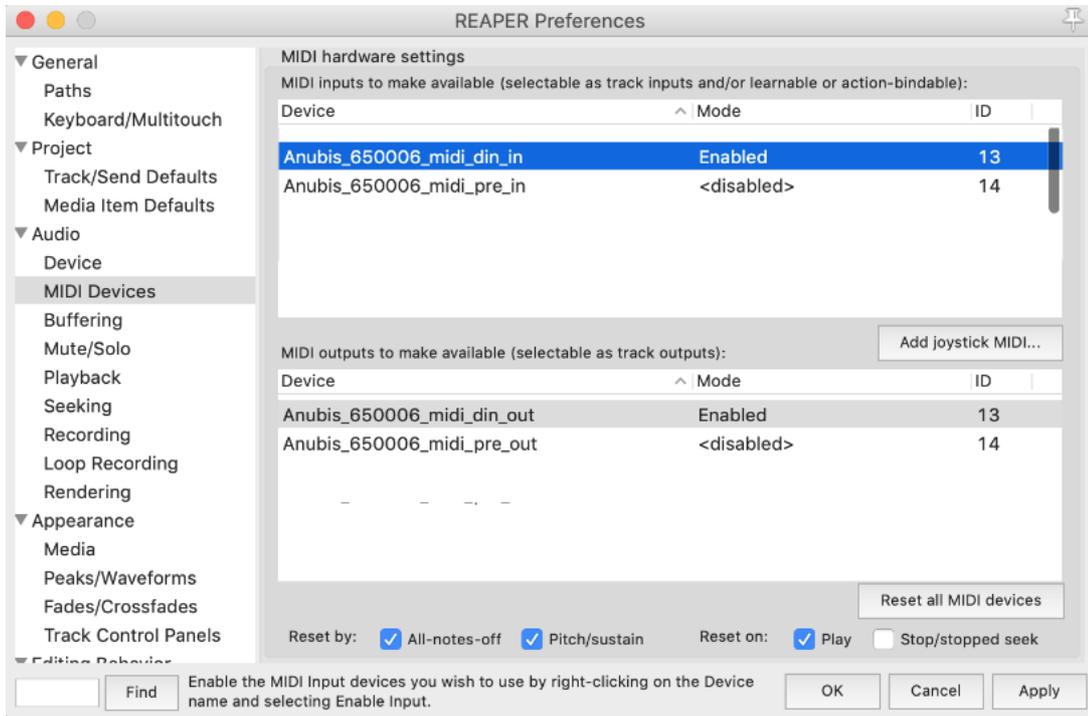


### MacOSユーザーの手順

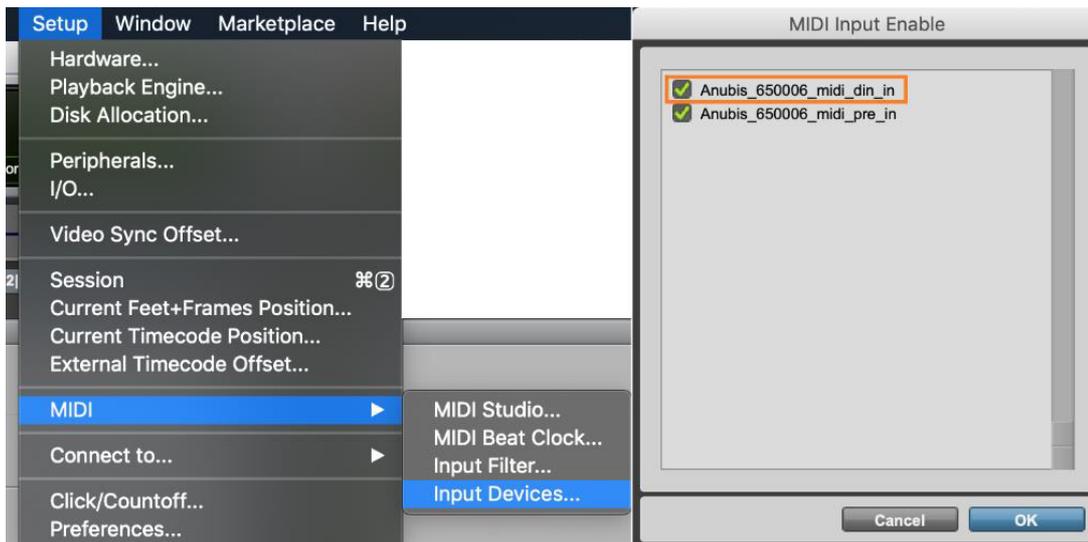
1. MIDIコントローラー（キーボードなど）をAnubisのMIDI I/Oコネクタに接続します。MIDIインターフェースをお使いの場合は、Anubis RAVENNAケーブルをお使いのMacのイーサネット・インターフェースに接続してください。
2. MIDIを使用するDAW/MIDIアプリケーションを起動します。
3. AnubisのMIDIポートが設定可能になるはずです。



Reaper の例 :



ProTools の例 :



以上で Anubis をMIDI機器のセットアップに組み込むことができます。

*Note* : Anubisの背面にあるMIDI入出力は、MIDIタイムコード (MTC) の送受信にも使用できます。これにより、MTCに対応したアプリケーションを使って、マルチトラックレコーダー (MTR/DAW) とMIDI機器を同期させることができます。

詳細は [TimeCode セットアップページ](#) (ASIOまたはバーチャルオーディオデバイス) を御覧ください。